

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、企業価値を持続的に向上させることを目的として、取締役会の実効性に関する評価を実施し、その結果がまとまりましたので、以下のとおりその概要をお知らせいたします。

一、取締役会評価実施概要

(1) 評価方法

2023年2月期は、当期末時点の取締役全員を対象に、アンケート形式による自己評価を実施し、当該結果について取締役会で分析及び評価いたしました。

(2) アンケート項目

自己評価に用いたアンケート項目（大項目）は以下のとおりです。今回の評価は、前年度評価からの定点観測をベースとしつつ、近年重要性が高まっている社外取締役の在り方に関する設問を追加いたしました。

- | | |
|-------------|---------------------------|
| ① 取締役会の構成 | ⑤ 取締役会を支える体制 |
| ② 取締役会の運営状況 | ⑥ デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進 |
| ③ 取締役会の議題 | ⑦ 前年の評価結果に対する取り組み |
| ④ 社外取締役の在り方 | |

二、評価結果

(1) 概要

評価の結果、取締役会の実効性は全般的に向上しており、当社の取締役会は概ね適切に機能していることを確認いたしました。特に、社外取締役を含め取締役会において活発な議論が行われている点について高い評価を得ていることを確認いたしました。

(2) 前回（2022年2月期）評価において確認された課題への対応状況

前回の評価においては、経営陣の後継者育成を具体的に進めていくこと、多様な人材を今後も確保・登用していくこと、サステナビリティを巡る課題への対応を進めること、デジタルトランスフォーメーション（DX）に関する取り組みを推進すること、が課題として確認されました。

これらの課題に対し、当社取締役会は2023年2月期に以下のように取り組んでまいりました。

①サクセッションプランの策定・運用に向けた取り組み

多様な人材の確保・登用などの観点から人事制度の見直しを行うなど、サクセッションプランの策定・運用につながるよう議論を進めてまいりました。

②サステナビリティを巡る課題への対応

「サステナビリティ基本方針」を制定したほか、推進体制を整備するため取締役会の下部組織としてサステナビリティ委員会を設置しました。同委員会での審議内容をもとに取締役会において議論するなど、サステナビリティに関する取り組みを着実に進めてまいりました。

③デジタルトランスフォーメーション（DX）に関する取り組み

全取締役を対象にDXをテーマとした研修を実施したほか、当社の情報システム分野における現状把握、課題共有など、今後、取締役会がDXに関する取り組みを実効的に監視・監督するための基礎作りを行ないました。

(3) 今回（2023年2月期）の評価において確認された課題

サクセッションプランの策定・運用については、人事部門及び指名報酬諮問委員会にて検討してきた内容をもとに、取締役会にて議論を深めていくことが確認されました。また、経営環境が大きく変化する中、経営戦略及び経営計画について取締役会での議論の機会を増やし、監視・監督機能を高めていく必要性が確認されました。

当社は、今回の評価結果を踏まえ、取締役会の実効性の維持、向上のため、今後も継続的に検討を進めてまいります。

以上